

広報活動

JICAは、開発途上国の抱える課題や国際協力の重要性、JICAの各種取り組みなどについて、さまざまな媒体を通じて積極的な広報活動を行っています。2019年度は、第7回アフリカ開発会議(TICAD7)に合わせて「アフリカ」、東京オリンピック・パラリンピックに向けて「スポーツと開発」を中心にJICAの取り組みを広く発信しました。

ウェブサイト、ソーシャルメディア

開発途上国を取り巻く課題、JICAの取り組みや成果などをウェブサイトで国内外に紹介しています。また、個別のプロジェクトを写真付きで紹介する「ODA見える化サイト」に、2019年度末までに4,594件の情報を掲載し、協力内容をわかりやすく公開しています。ソーシャルメディア(Facebook、Twitter、YouTubeなど)も活用し、タイムリーな発信にも注力しています。

広報誌

和文月刊誌「mundi」、英文季刊誌「JICA's World」では、国際的に議論されているテーマに関する特集や、特定の地域におけるJICAの事業などを紹介しています。2019年度の特集テーマは、気候変動対策、栄養改善、日本式の協力、西バルカン地域、中東地域などでした。

報道メディア

本部や国内拠点からプレスリリースによる情報提供を行うほか、テーマを設けてメディア関係者向けの勉強会を開催しています。本部は、日本らしい協力や革新性の高い取り組み、国内拠点は地方自治体、大学、中小企業、JICA海外協力隊員など、各地域の組織や人が主役となって行う協力について、積極的に情報提供しています。



カンボジア：自身がアンバサダーを務めているFC琉球に所属していた青年海外協力隊員の活動現場を視察した北澤さん

海外メディア向けには、各国の拠点がプレスリリース発信や勉強会、事業現場へのプレスツアーを実施しています。2019年度は、アフリカ地域10カ国から新聞・テレビ記者を日本に招き、「アフリカの開発課題に貢献する日本の経験」取材する機会を提供しました。

イベント

グローバルフェスタJAPAN(東京)をはじめ国内外でさまざまなイベントを単独で、または外務省や地方自治体、大学、NGOなどと共同で開催し、一般の方々に直接、国際協力やJICA事業を紹介しています。

JICAオフィシャルサポーター

元プロテニスプレーヤーの伊達公子さん、元サッカー日本代表の北澤豪さん、シドニー五輪の女子マラソン金メダリストの高橋尚子さんが活動しています。2019年度は、北澤さんがカンボジア、高橋さんがマダガスカルを訪問。伊達さんは第5回国際女性会議WAW!(東京)に登壇するなど、それぞれが現場で見て感じた開発途上国の現状やJICAの取り組みは、マスメディアやイベントなどを通じて広く発信されました。

若い世代向けに映像や漫画を活用

若い世代が開発途上国や国際協力を身近に感じる発信を展開しています。2019年度は、テレビ番組やCM、漫画などを通じてわかりやすく伝える活動を行いました。谷川俊太郎さんの詩「私たちの星」のナレーションに合わせ、JICAの開発途上国での取り組みを映像で伝えるイメージビデオのほか、タイでの人身取引の実態を描いた漫画も制作しました。



▲JICAコンセプトムービー「私たちの星」。YouTube JICA channelで公開中 ▶「わたしをとりまく世界の話」。JICA専門家への取材を基に少女漫画家の尾崎衣良さんが執筆

